

KAMAKURA CITY



市役所の就職活動を考える

提案者 鎌倉市総務部職員課 中村・橋本

就活生の獲得競争が激しくなる中、「鎌倉市で働きたい」そして、「鎌倉市で力を発揮していただける人材」を確保するために、採用マーケティングの考え方を取り入れて、効果的な採用アプローチを模索します。

本ワークショップの目標

今どきの就職活動事情や、鎌倉市の採用事情などを分析して、「鎌倉市で活躍できる人財」を確保するための効果的な採用アプローチ方法を導きます。

採用マーケティングの手法を取り入れ、鎌倉市が求める具体のペルソナ（人財像）を設定し、それぞれに最適な採用アプローチ方法を、カスタマージャーニーマップを作成してステップごとに特定していきます。

🏠 採用マーケティングとは？

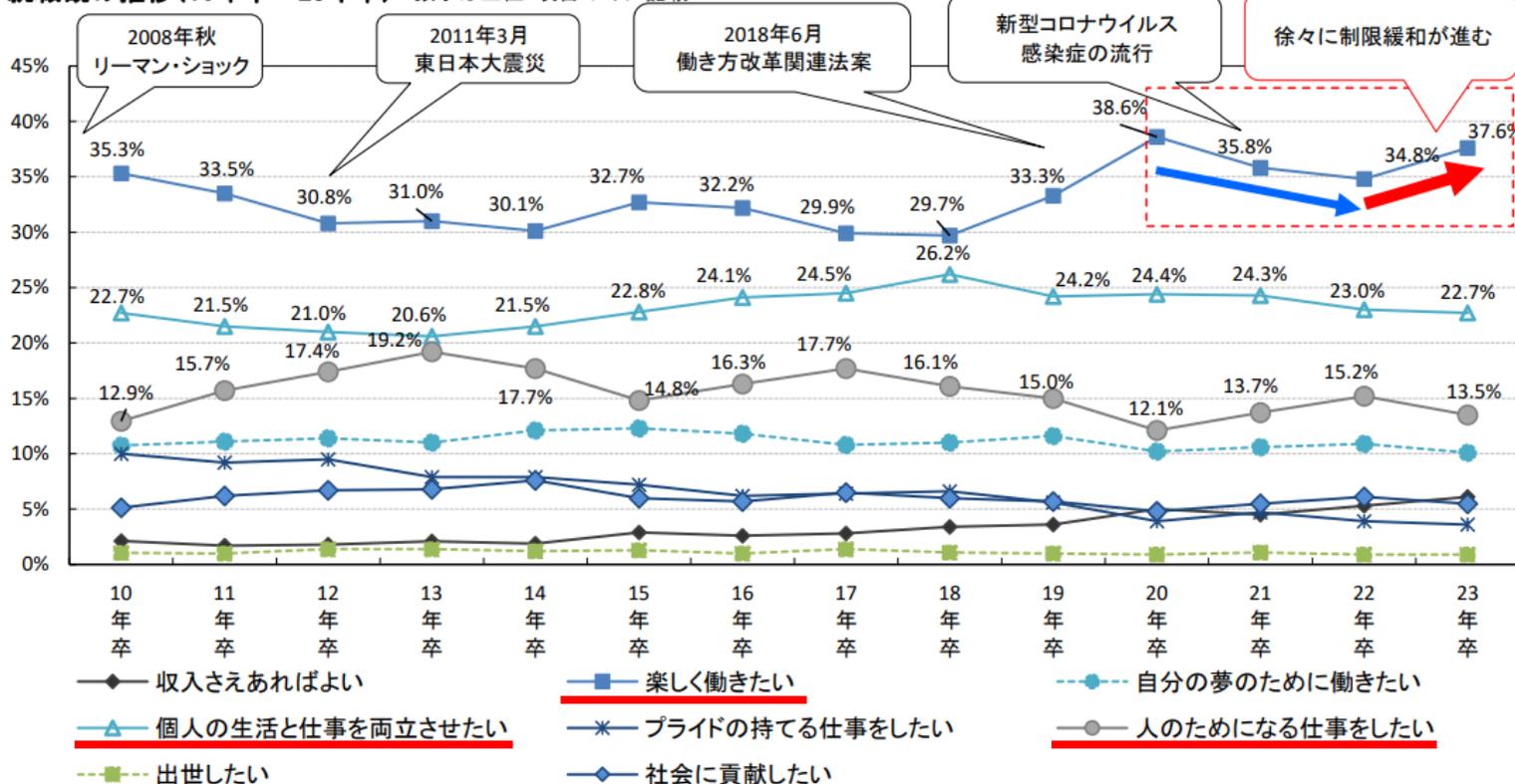
採用マーケティングとは、ビジネスにおける「マーケティング」のプロセスや概念を採用活動に取り入れたものです。採用したいターゲット人財を特定し、訴求メッセージを的確に発信することで戦略的な採用を実現します。ここでは主に、認知⇒興味・関心⇒応募⇒合格（内定）の各プロセスにおいて必要なアプローチを検討します。

【背景1】今どきの公務員就活事情

・学生の就職観の推移

楽しく働き、私生活も大切にしながら、社会に貢献したい。

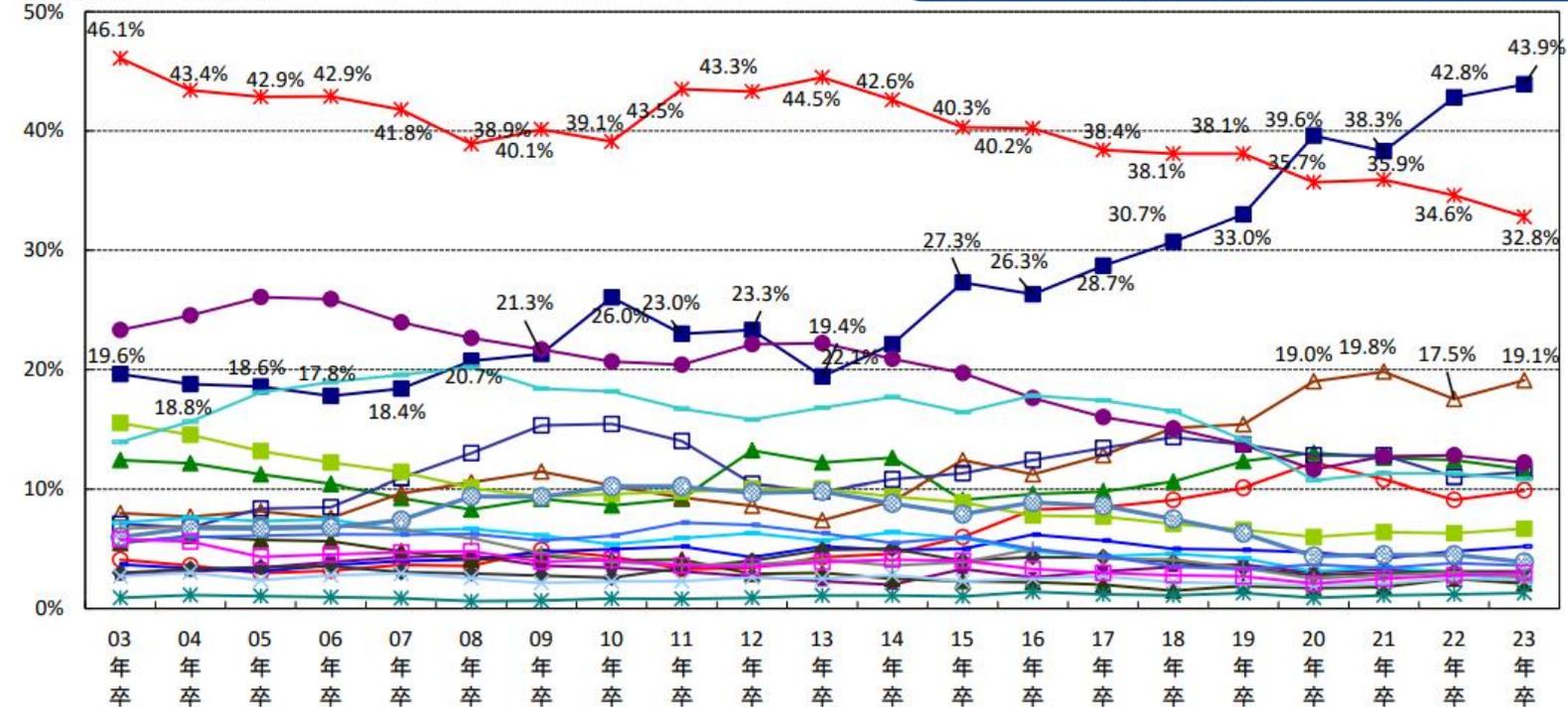
就職観の推移(10年卒～23年卒) *数字は上位3項目のみに記載



学生の企業選びのポイント

会社も給料も安定していて、
自分のやりたい仕事ができる会社がよい

推移(03年卒～23年卒)



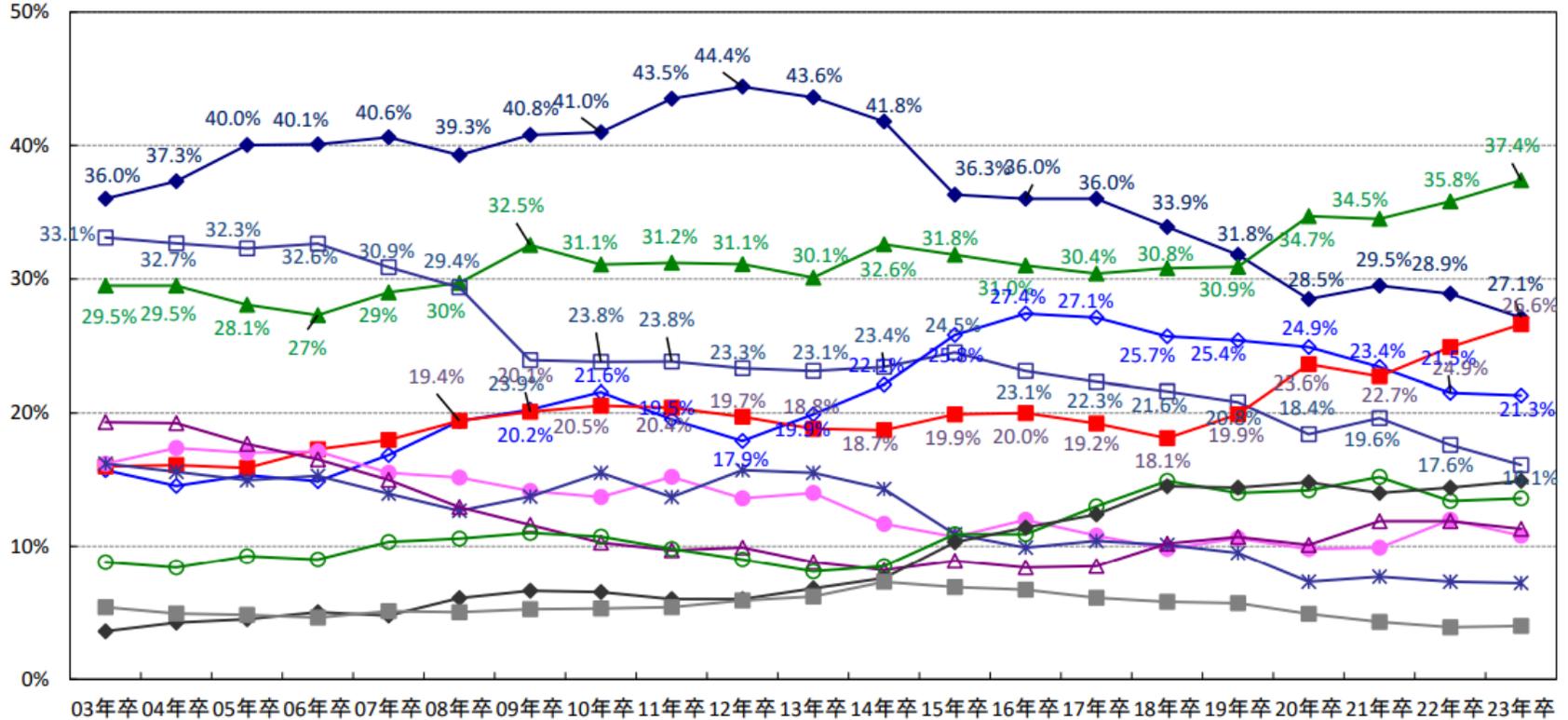
- 安定している会社
- ▲ これから伸びそうな会社
- △ 給料の良い会社
- ✱ 自分のやりたい仕事(職種)ができる会社
- ◆ 有名な会社
- 休日、休暇の多い会社
- 勤務制度、住宅など福利厚生の良い会社
- ▶ 転勤のない会社
- 海外で活躍できそうな会社
- ◆ いろいろな職種を経験できる会社
- 自分の能力・専門を活かせる会社
- ▲ 大学・男女差別のない会社
- ✱ 若手が活躍できる会社
- ✱ 事業を多角化している会社
- 働きがいのある会社
- + 志望業種の会社
- ▶ 親しみのある会社
- 社風が良い会社
- 一生続けられる会社
- 研修制度のしっかりしている会社

・行きたくない会社

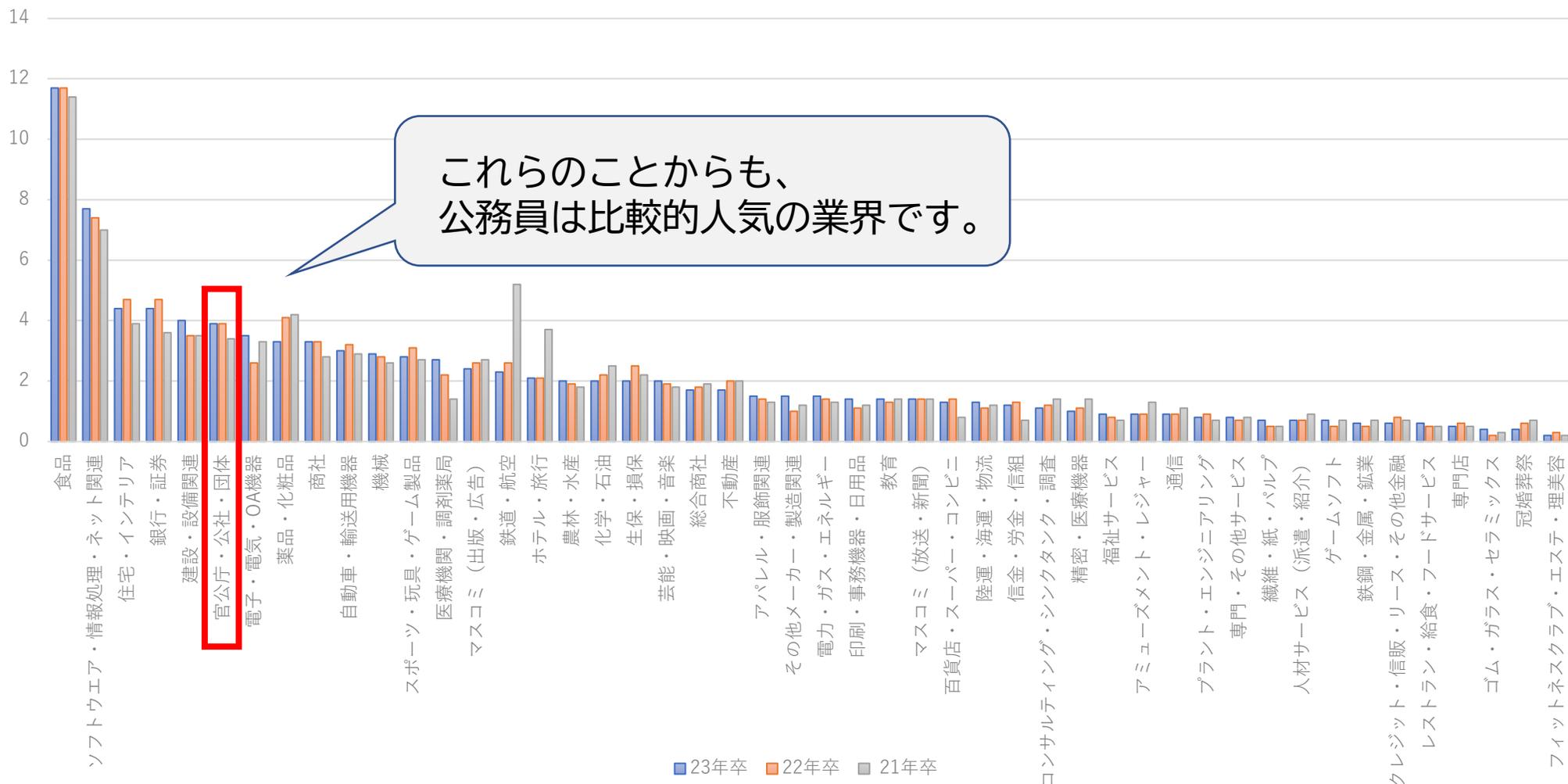
職場の雰囲気がよくて、転勤が少なく、ノルマがなく、しっかり休める会社がいい

行きたくない会社 (03年卒～23年卒)

- ◆ 暗い雰囲気の会社
- ▲ ノルマのきつそうな会社
- 仕事の内容が面白くない会社
- ◇ 休日・休暇がとれない(少ない)会社
- 転勤の多い会社
- 大学・男女差別のありそうな会社
- ✱ 財務内容の悪い会社
- △ 体質が古い会社
- 給料の安い会社
- ◆ 残業が多い会社
- 歯車になりそうな会社

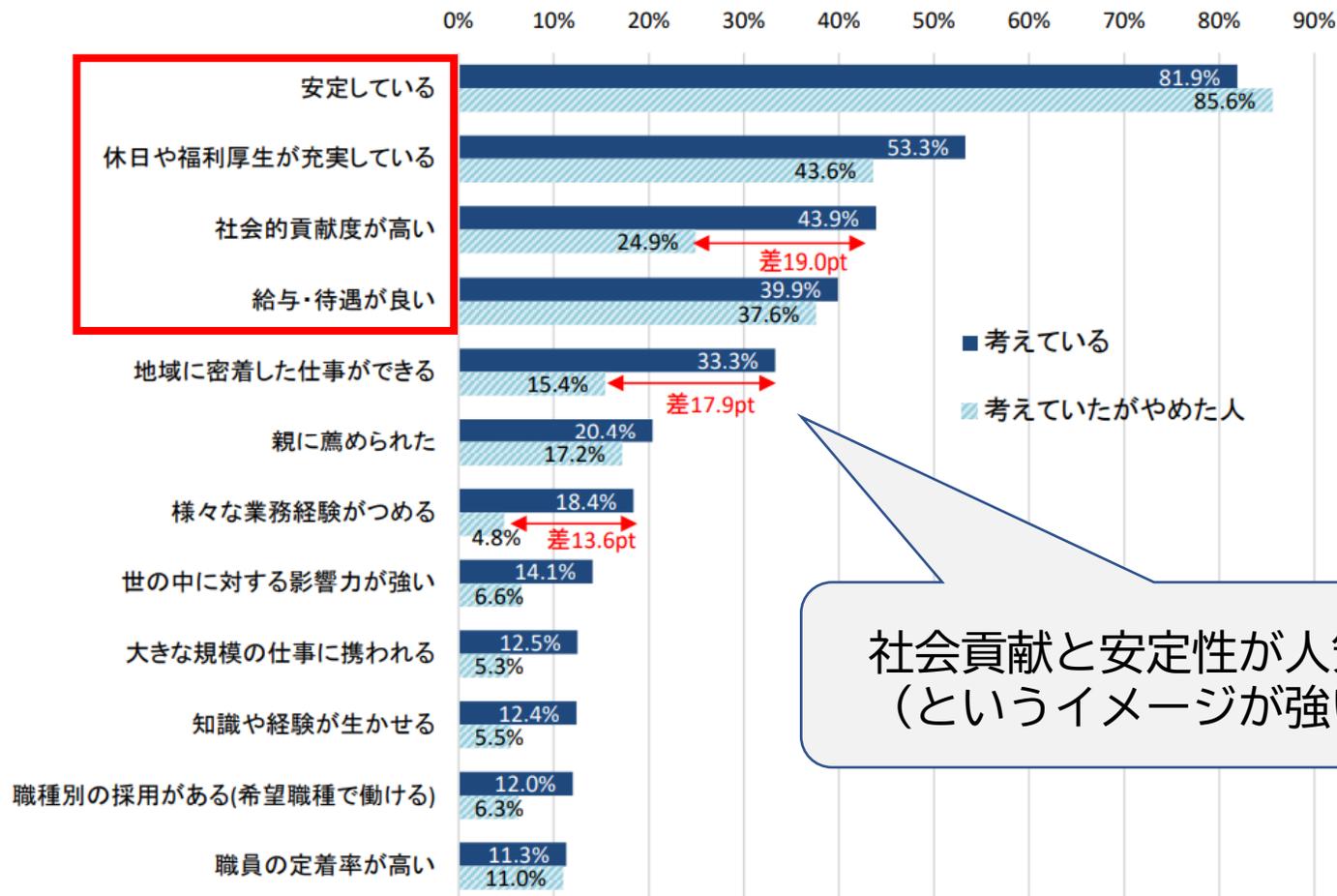


・ 志望する業種（単一回答）



・ 公務員になりたい理由

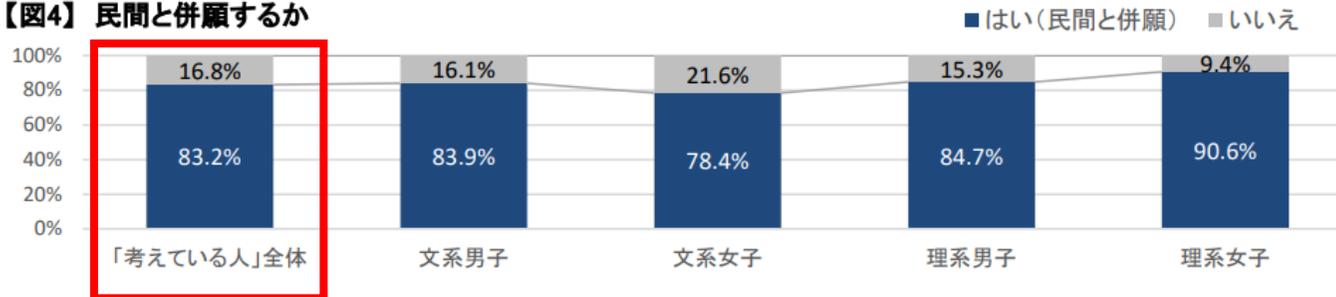
【図2】<公務員になりたい理由> 「考えている人」と「考えたがやめた人」の比較 (上位項目のみ)



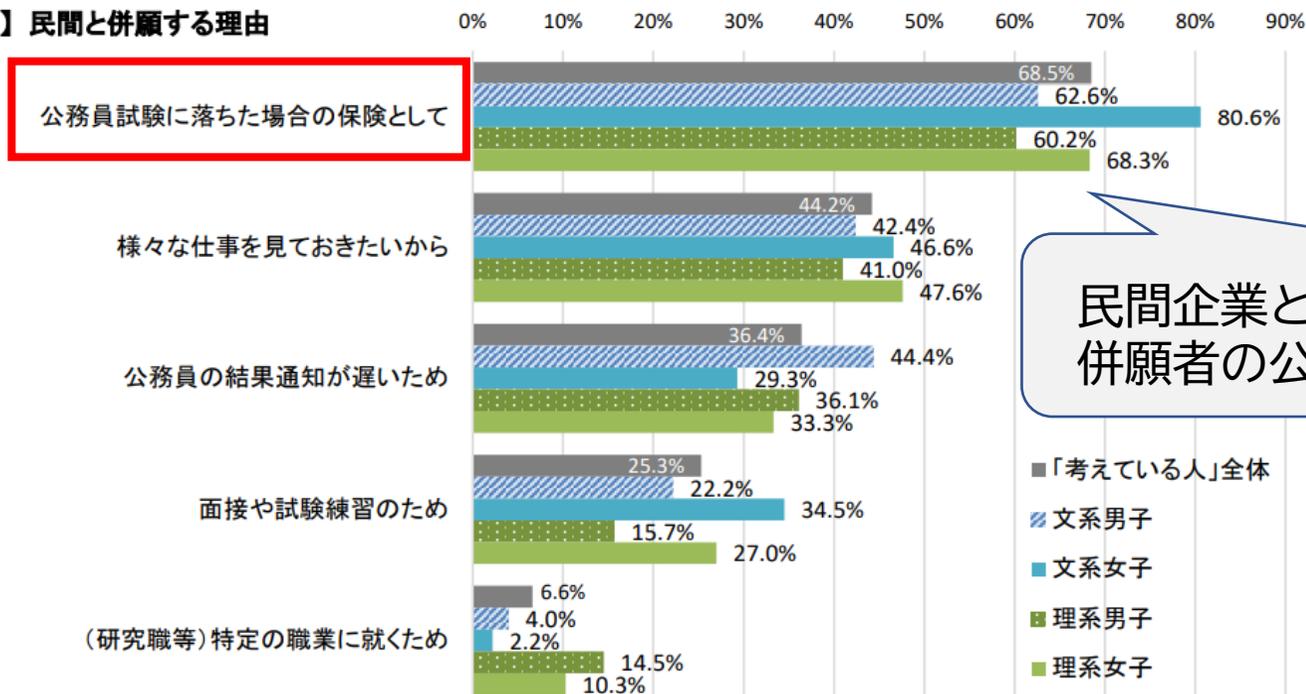
社会貢献と安定性が人気のポイント
(というイメージが強い)

・民間との併願状況

【図4】 民間と併願するか



【図5】 民間と併願する理由



民間企業との併願者は多いが、併願者の公務員優先度は高い

公務員の志望先を決定した時期

高卒採用もあるので、検討時期は高校性と大2・3年生が多い

(5) どの公務員を志望するか決めたのはいつですか

| | 23年卒 | | | 22年卒 | | |
|--------------------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|
| | 全体 | 考えている | 考えたがやめた | 全体 | 考えている | 考えたがやめた |
| 回答数 | 1,840 | 651 | 1,189 | 1,952 | 708 | 1,244 |
| 中学生以前 | 9.5% | 8.5% | 10.1% | 10.7% | 6.1% | 13.3% |
| 高校生 | 23.6% | 12.5% | 29.7% | 23.1% | 13.1% | 29.0% |
| 大学1年生 | 14.8% | 8.3% | 18.3% | 15.2% | 10.9% | 17.7% |
| 大学2年生 | 17.0% | 13.0% | 19.2% | 17.4% | 17.6% | 17.3% |
| 大学3年生・院1年(4~6月頃) | 16.7% | 22.3% | 13.6% | 15.5% | 19.5% | 13.2% |
| 大学3年生・院1年(7~9月頃) | 6.4% | 10.6% | 4.1% | 6.3% | 9.7% | 4.3% |
| 大学3年生・院1年(10~12月頃) | 6.7% | 14.6% | 2.4% | 7.0% | 13.9% | 3.0% |
| 大学3年生・院1年(1~3月頃) | 3.3% | 7.6% | 1.0% | 3.5% | 7.6% | 1.2% |
| 大学4年生・院2年 | 1.8% | 2.5% | 1.5% | 1.3% | 1.6% | 1.1% |
| 大学3年生・院1年の合計 | 33.1% | 55.1% | 21.1% | 32.3% | 50.7% | 21.7% |

公務員を「考えている」学生の、考え始めた時期と、どの公務員が決めた時期



・ 公務員の仕事情報

公務員の「仕事についての情報」に関して、民間企業と比較してどう思いますか。

※「わからない」と回答したものを除いて集計

(27) <情報量>

| | 23年卒 | | | | 22年卒 | | | |
|---------|-------|-------|---------|------------|-------|-------|---------|------------|
| | 全体 | 考えている | 考えたがやめた | もともと考えていない | 全体 | 考えている | 考えたがやめた | もともと考えていない |
| 回答数 | 2,301 | 567 | 1,019 | 715 | 2,627 | 633 | 1,102 | 892 |
| 情報量が少ない | 75.4% | 67.1% | 76.7% | 80.1% | 75.6% | 67.9% | 76.5% | 80.0% |
| 情報量が多い | 5.2% | 7.8% | 4.6% | 4.0% | 7.5% | 8.6% | 7.4% | 6.9% |
| 変わらない | 19.4% | 25.1% | 18.7% | 15.9% | 16.9% | 23.5% | 16.1% | 13.1% |

※「わからない」と回答したものを除いて集計

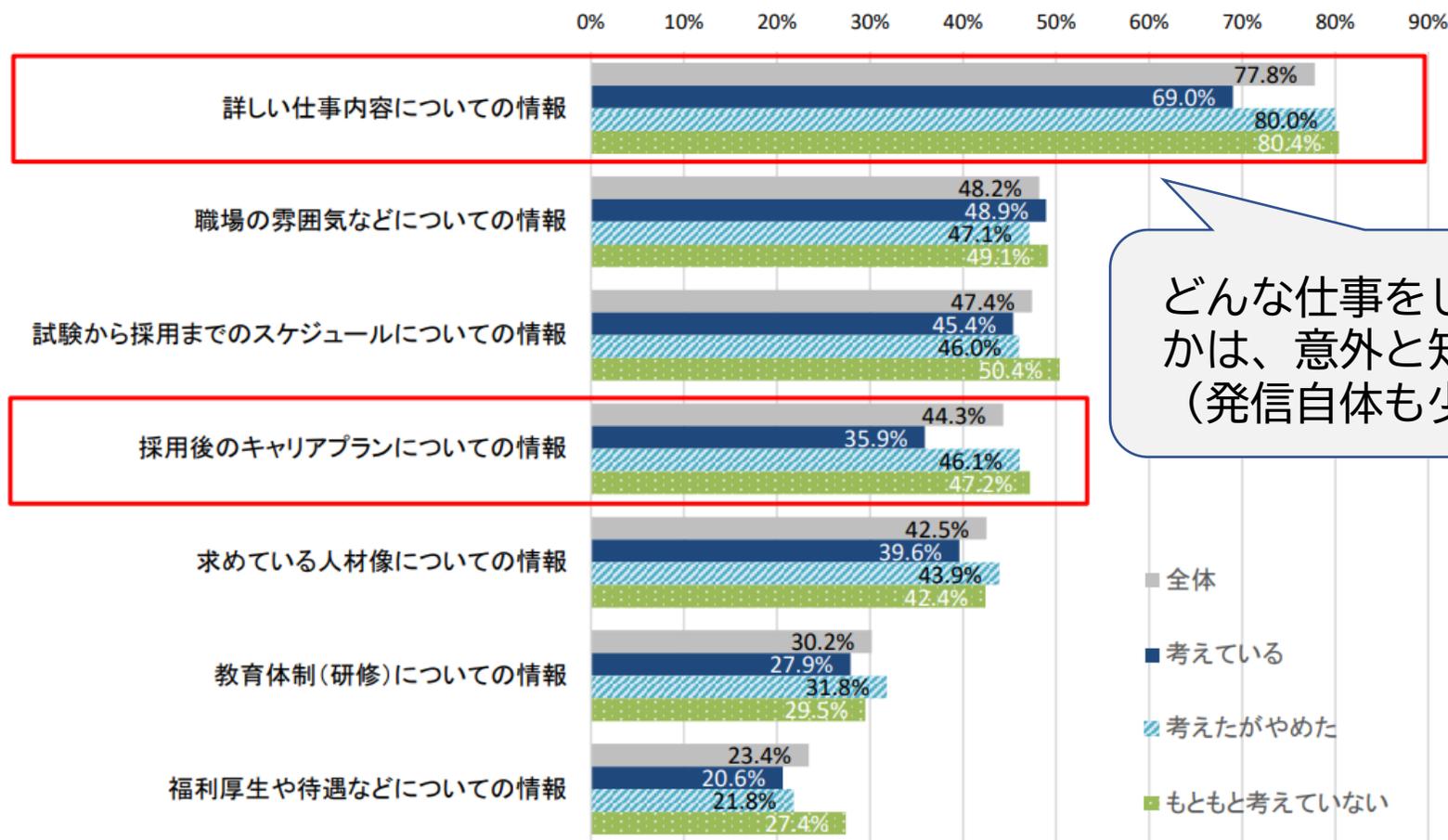
(28) <情報公開時期>

| | 23年卒 | | | | 22年卒 | | | |
|-------|-------|-------|---------|------------|-------|-------|---------|------------|
| | 全体 | 考えている | 考えたがやめた | もともと考えていない | 全体 | 考えている | 考えたがやめた | もともと考えていない |
| 回答数 | 1,253 | 493 | 520 | 240 | 1,472 | 530 | 608 | 334 |
| 時期が早い | 9.3% | 6.3% | 10.7% | 12.3% | 9.8% | 7.3% | 11.4% | 10.8% |
| 時期が遅い | 55.8% | 62.0% | 56.2% | 43.5% | 54.6% | 62.2% | 49.5% | 51.8% |
| 変わらない | 34.8% | 31.8% | 33.0% | 44.2% | 35.6% | 30.5% | 39.0% | 37.4% |

就活に当たって、仕事に関する情報量や情報公開時期には不満あり

・ 学生が求める公務員の仕事情報

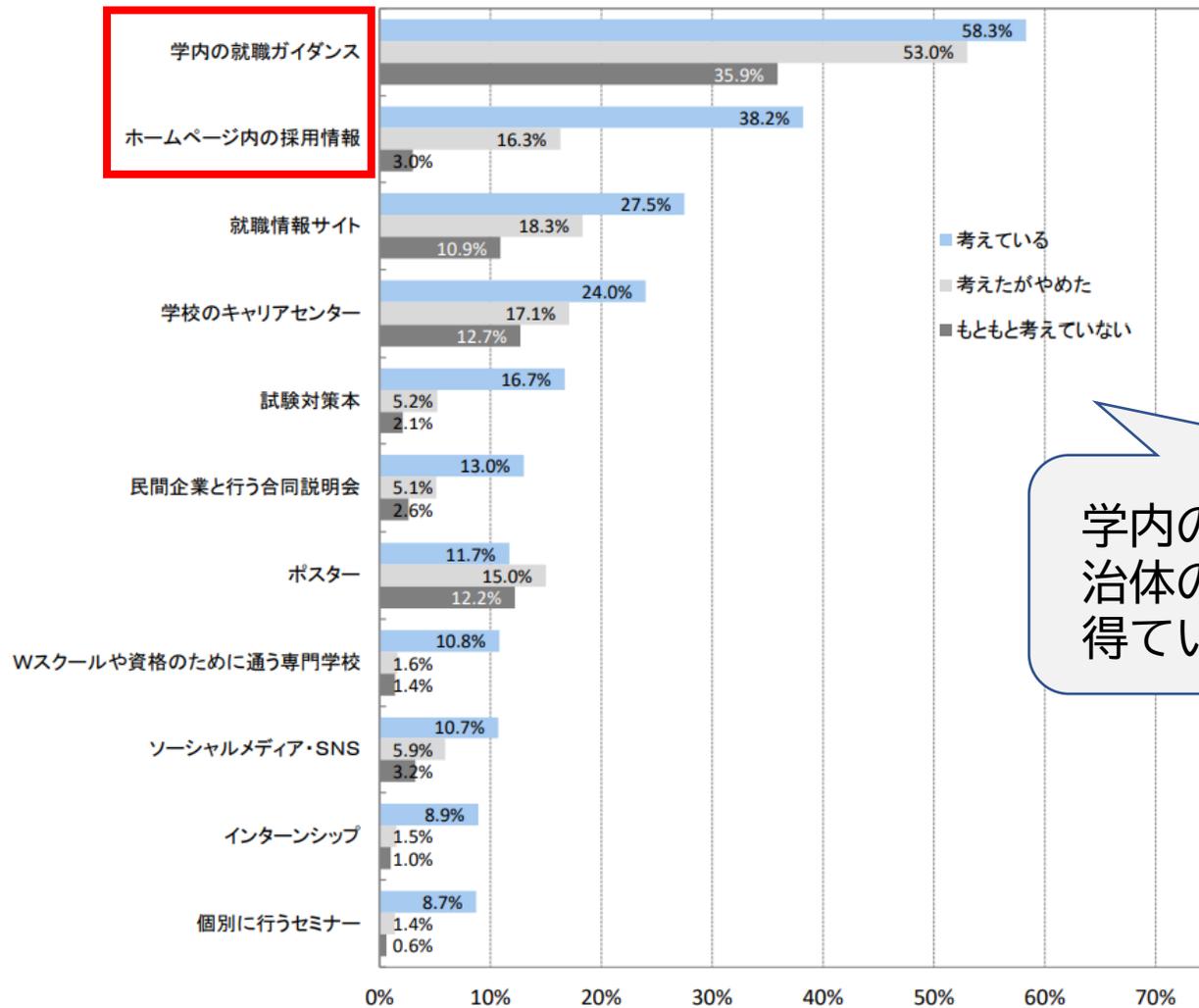
【図8】 公務員の仕事について、どのような情報が少ないと思うか



どんな仕事をしているのかは、意外と知らない
(発信自体も少ない)

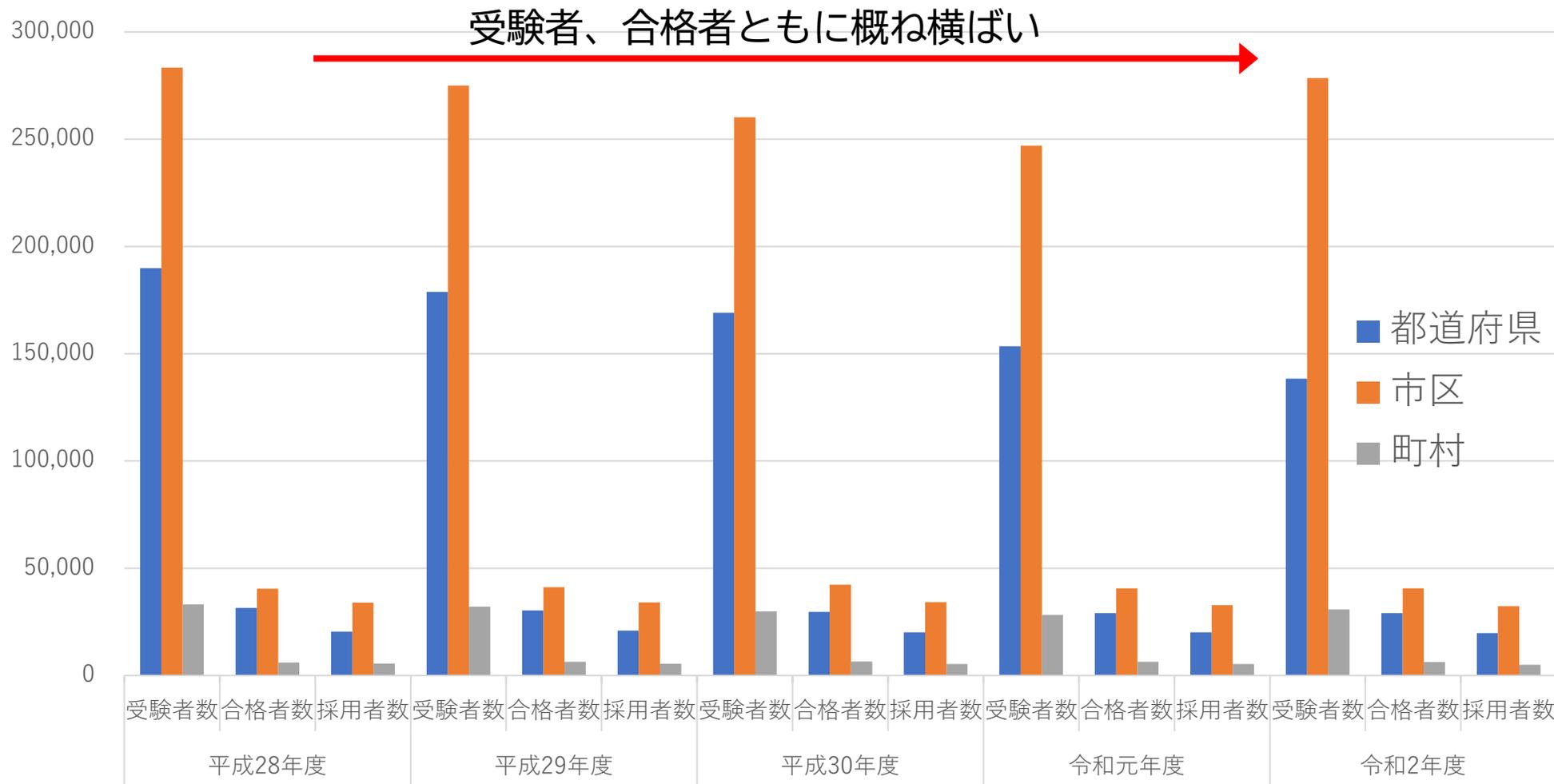
・ 就職情報の入手先

公務員採用情報を見たことのある方法やツール（「公務員採用の情報を見たことがない」を除く上位抜粋）



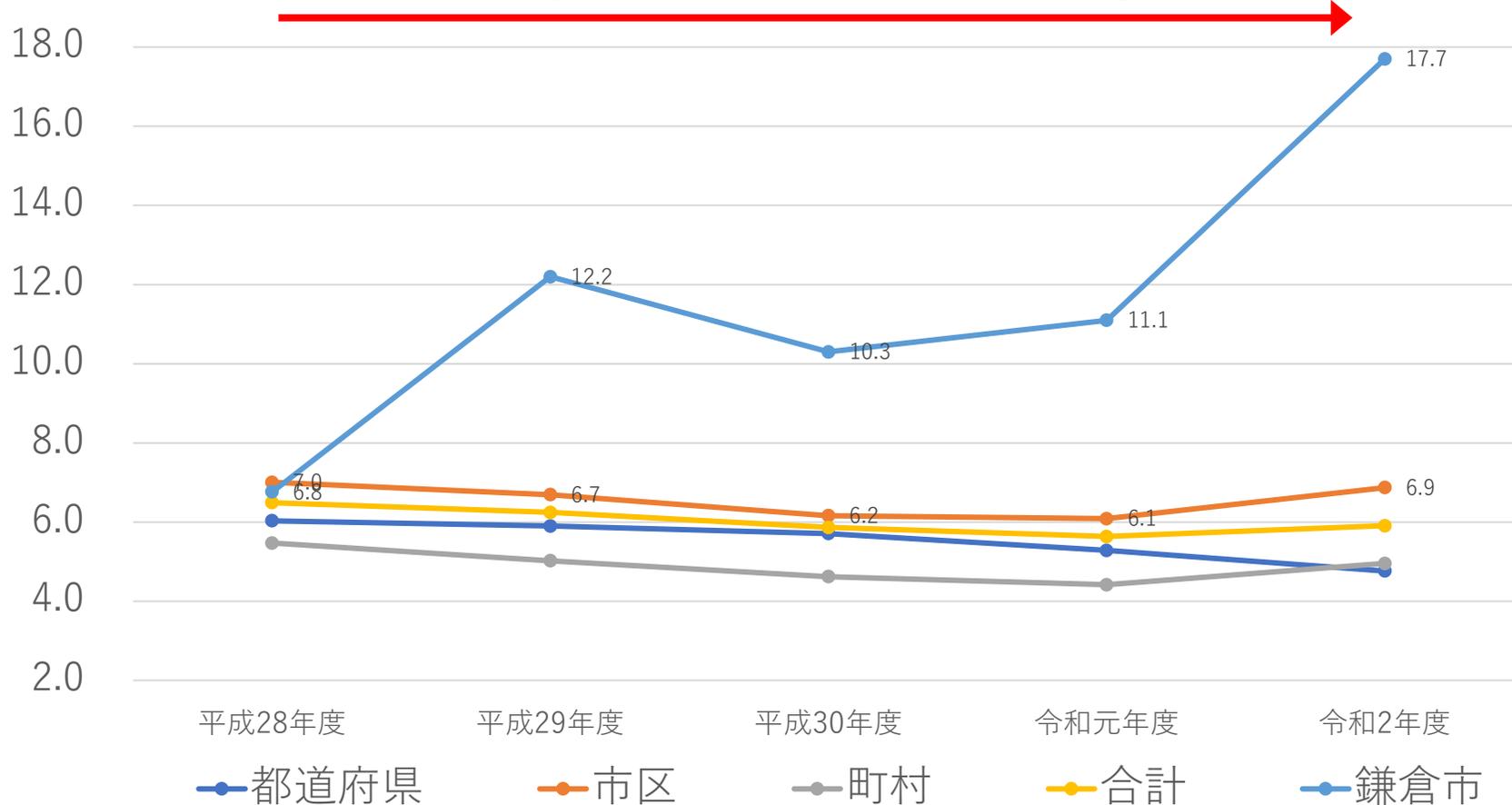
学内の就職ガイダンスや、各自治体のホームページから情報を得ている人が多い

・ 地方公務員の受験者数・合格者数採用者数の推移



地方公務員の倍率の推移 (受験者/最終合格者)

全体的には横ばい (鎌倉は上昇傾向)





【データから読み取れる事実】

- ・就活生は「やりたい仕事を」「安定して」「私生活を大切にしながら」働く場所を求めている。⇒公務員はこの条件にマッチしている
- ・公務員志望者は、「安定志向」「社会貢献志向」が強い
- ・公務員志望者は、民間企業志望者よりも早い段階から就活を意識している（高校生、大学2年生）
- ・公務員の仕事情報は足りない。募集情報公開時期も遅い

「地方公務員になりたい」と思う人は多い。

希望者に、適切に、早い時期から、欲しい仕事情報を伝えられ、具体的に働くイメージを掴んでもらうことができれば、

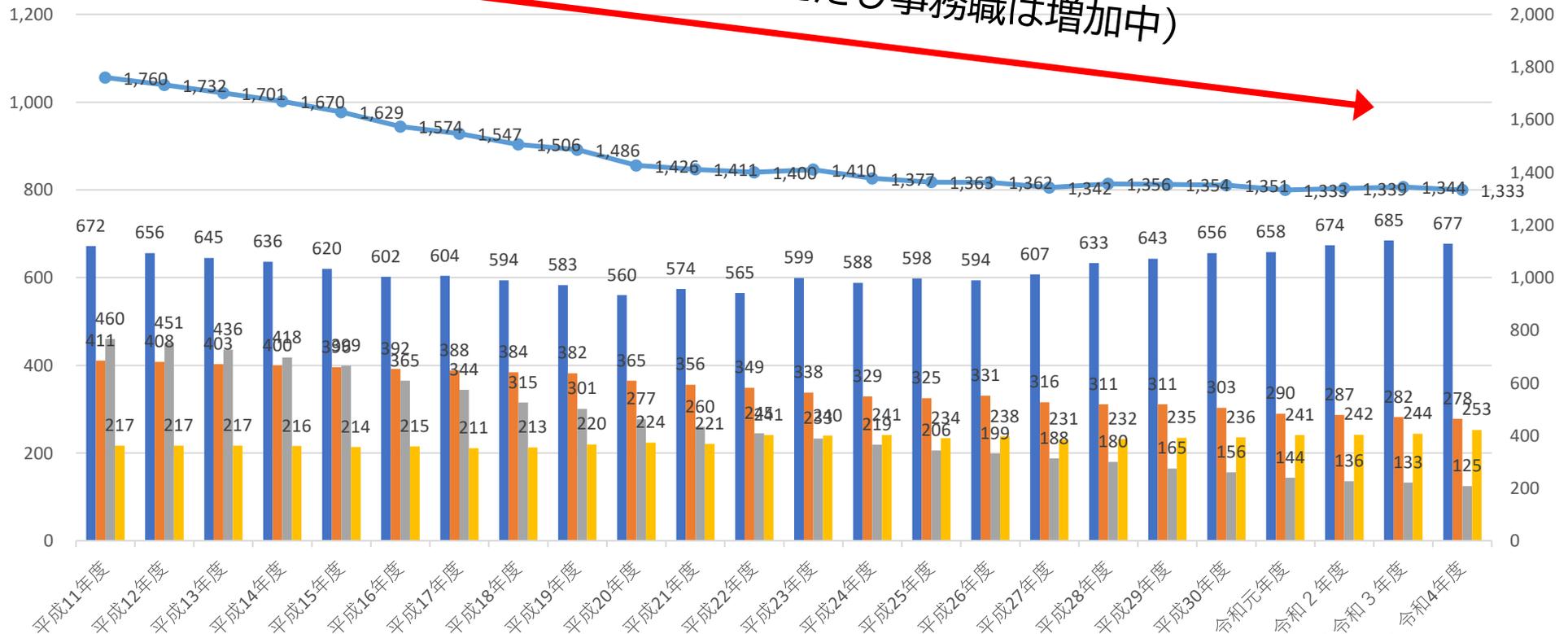
「公務員になりたい」⇒「鎌倉市役所で働きたい」に変えられるのでは？

【背景2】鎌倉市の採用の実情

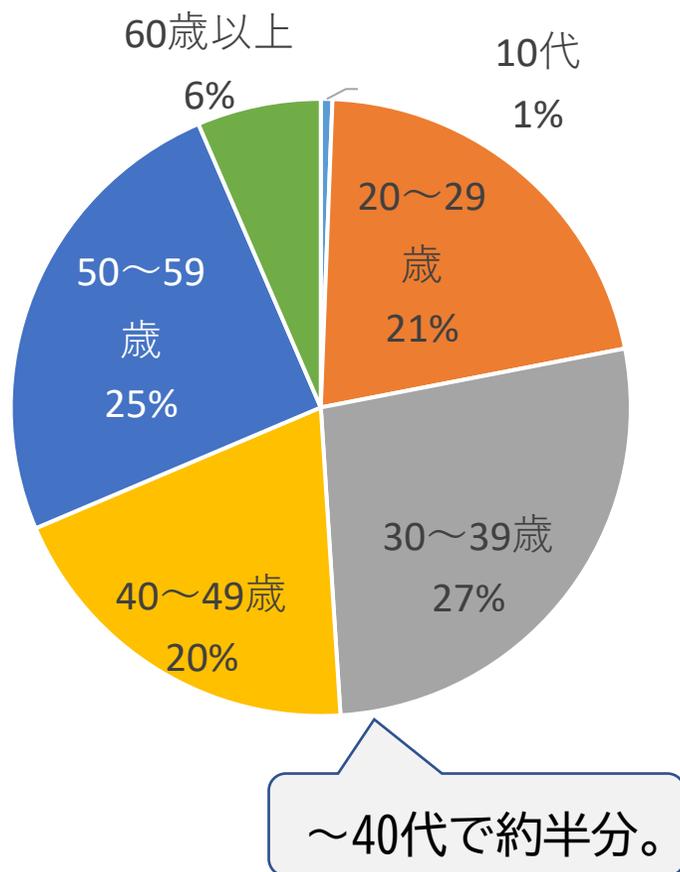
・鎌倉市役所の職員数の推移（常勤）

- 事務職
- 技術職
- 技能労務職
- 消防職
- 合計

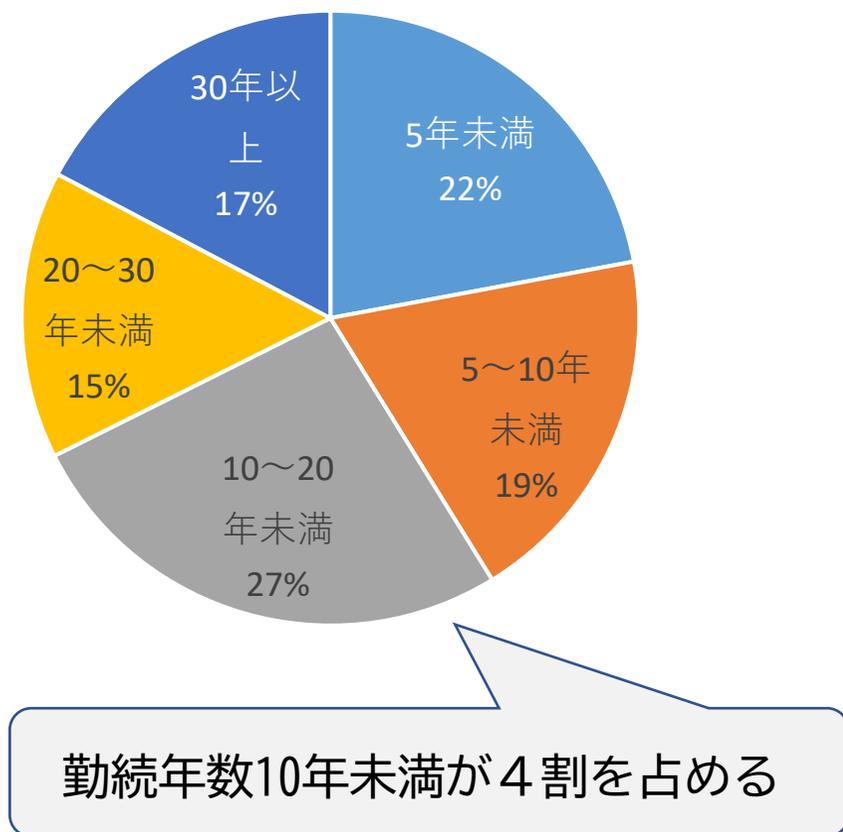
全体人数は逡減傾向（ただし事務職は増加中）



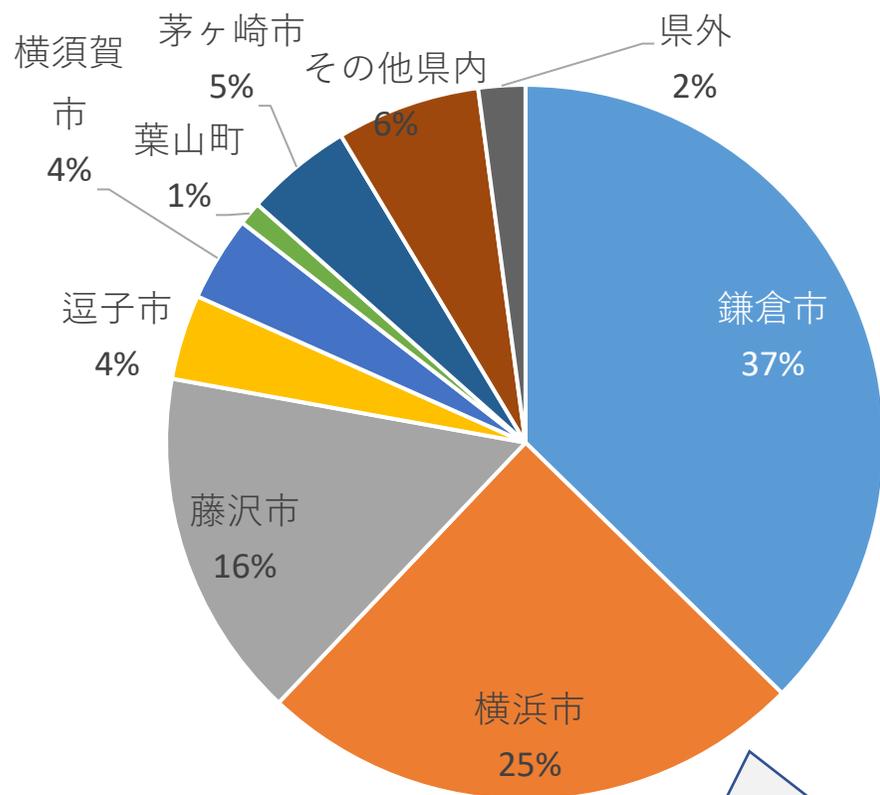
・ 職員の年齢構成



・ 職員の勤続年数

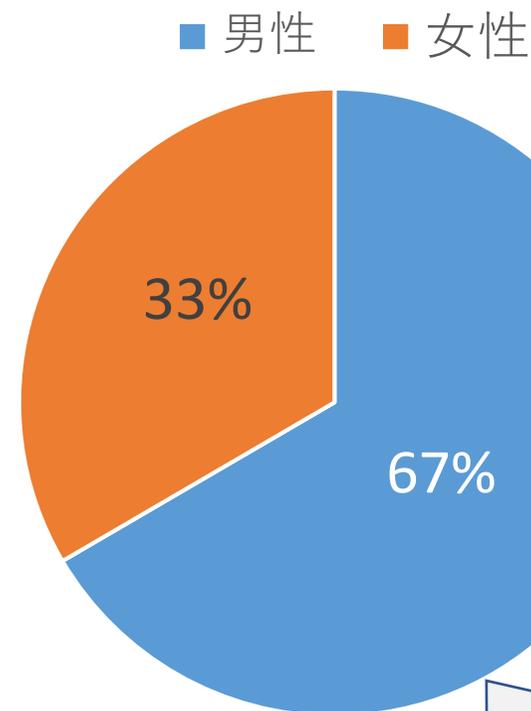


・ 職員の居住地



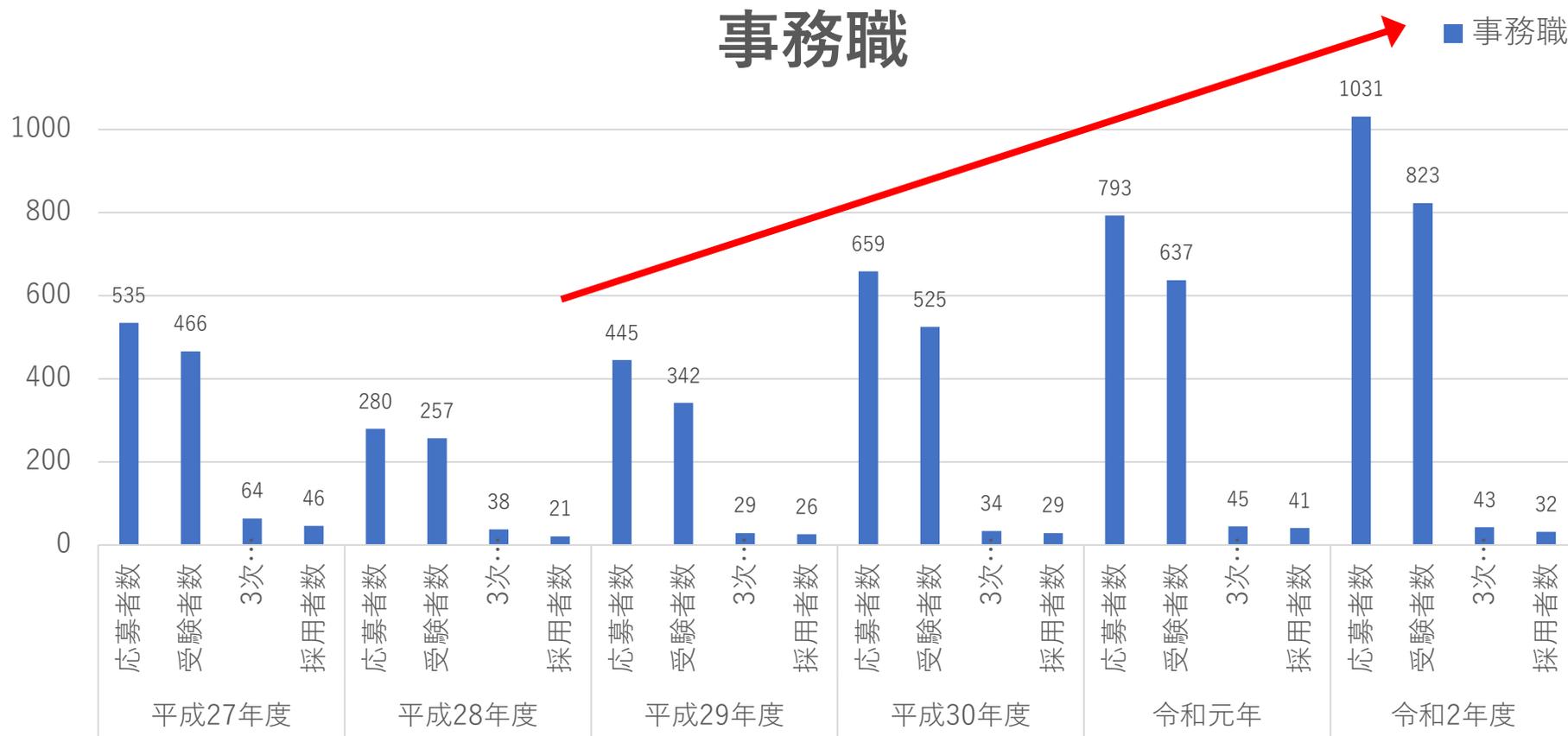
市内在住者は4割弱

・ 職員の男女比



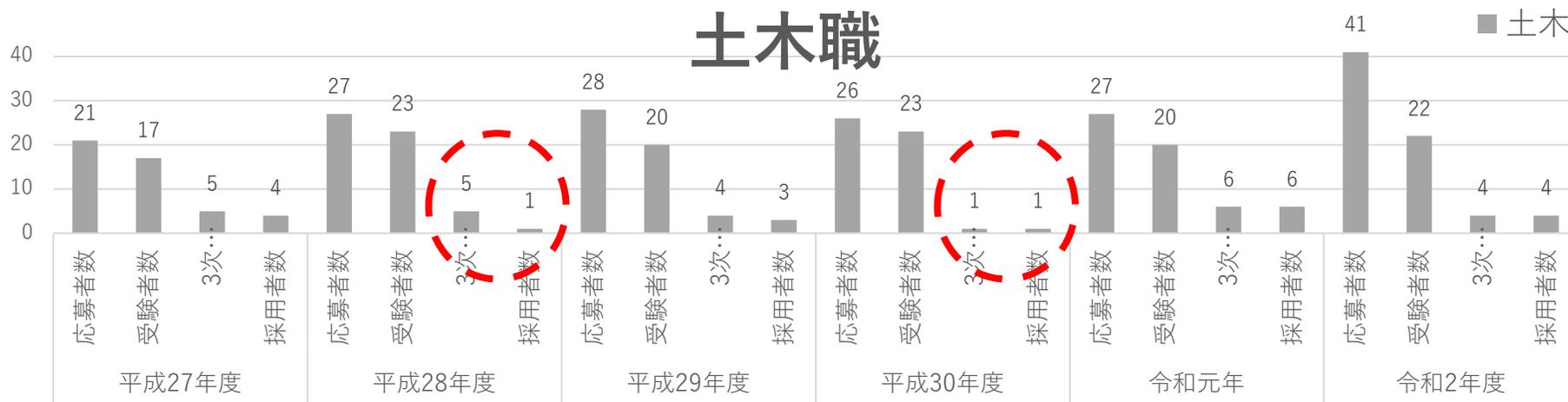
全体の男女比は2：1だが、30代以下だとほとんど5：5

・ 応募者数・合格者・採用者の推移（事務職）



事務職の応募者数は増加傾向（令和2年度からWEB筆記試験開始の影響あり？）

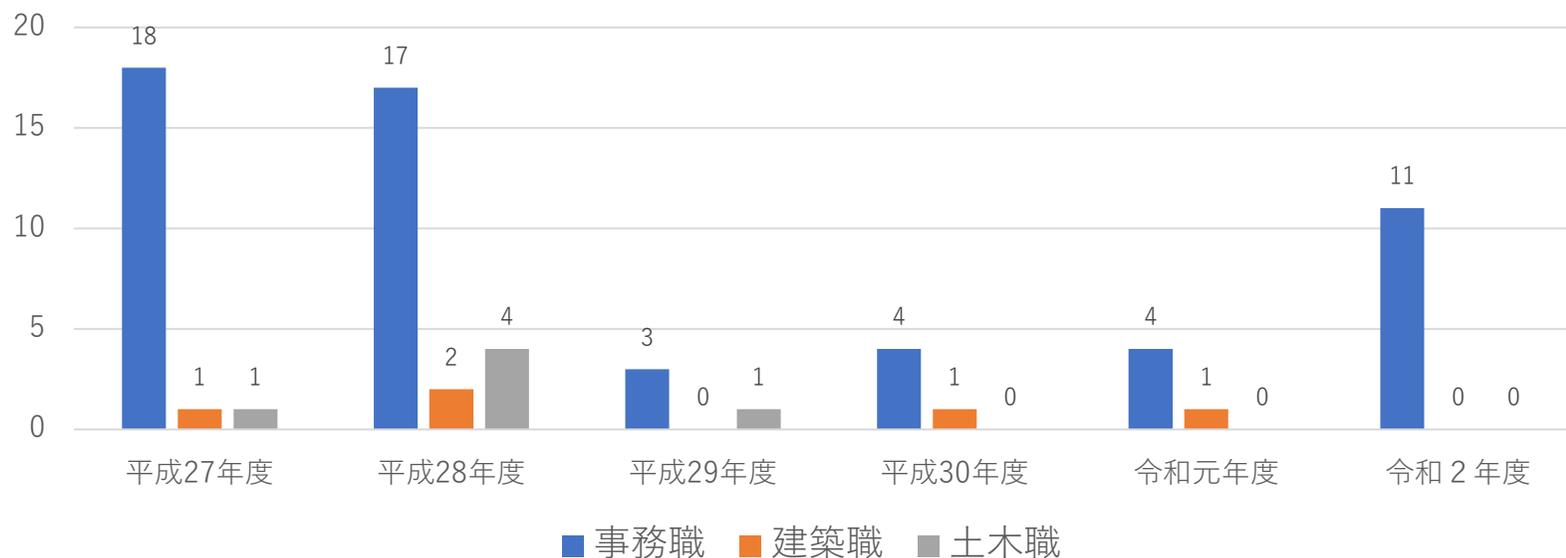
応募者数・合格者・採用者の推移（技術職）



一方で、技術職は募集予定人数を確保できないことも・・・

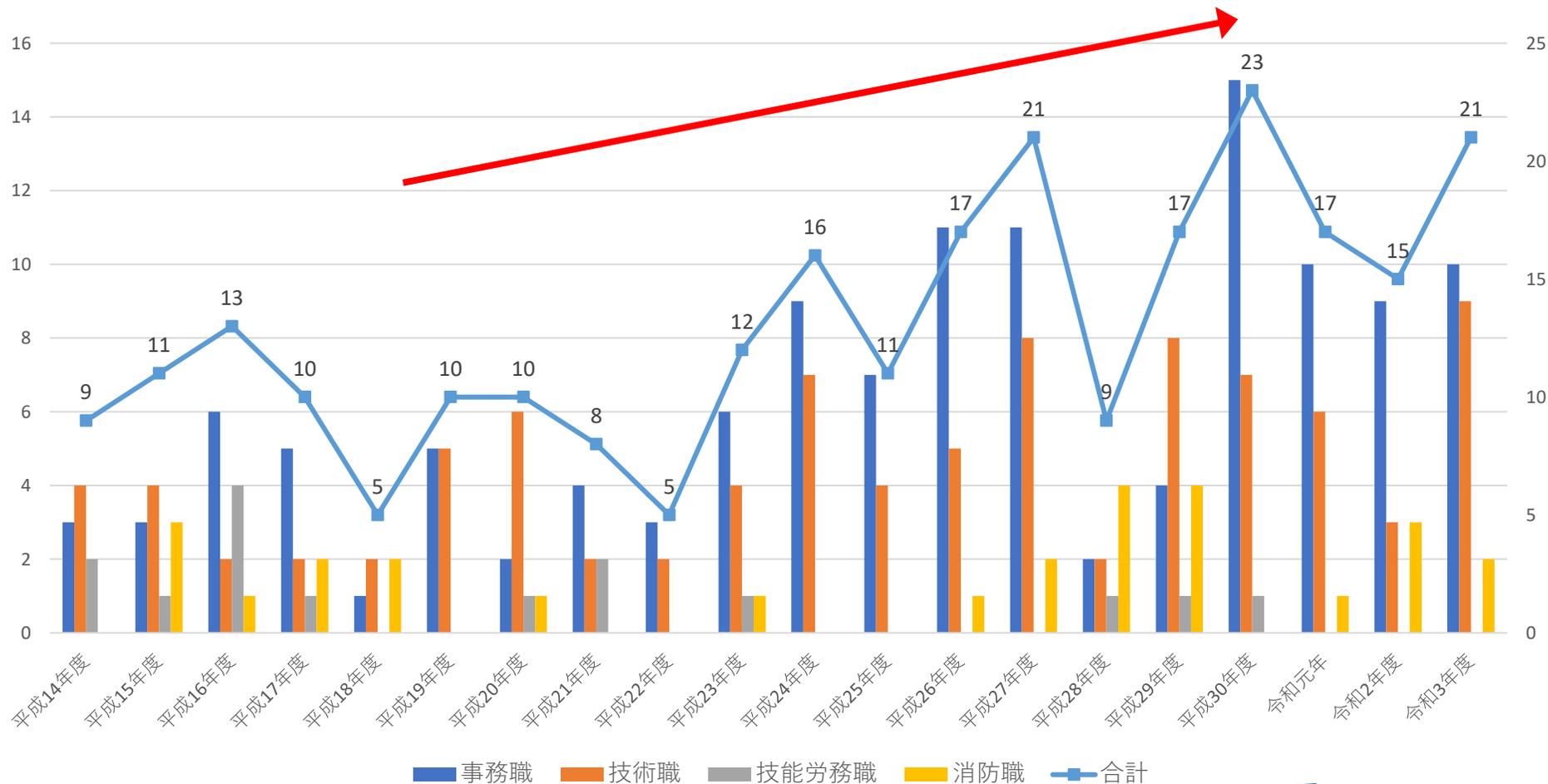
・採用辞退者数

採用試験合格後の採用辞退者数



採用試験合格後の辞退者も一定数ある・・・
辞退理由：他自治体の合格、民間企業の内定など

・ 中途退職者数（自己都合退職者）



採用後の自己都合退職者数も増加傾向
 辞退理由：他自治体・民間企業への転職、家庭事情など



【データから読み取れる事実】

- ・ 職員の年齢層は30歳代以下が約半数と、比較的若い世代が多い
- ・ 経験年数は10年未満が4割を占め、比較的若い組織風土がある
- ・ 市内在住者は4割弱。近隣自治体と比較しても少ない（5～7割位が標準）
- ・ 事務職は、倍率（受験者数／合格者数）が10倍以上と高い一方、辞退者も多い。技術職（建築・土木）は受験者数が少なく、採用希望数を確保できないことも。
- ・ 中途退職者数も増加傾向にあり、流動性が高まっている。

いわゆる「公務員」といった年功序列の組織から、若い世代が積極的に動き、仕事を「自分ごと」として捉え、自ら動ける職員が必要になってきている。

中途退職者や社会人経験者採用など、公務員も組織の流動性は高くなってきているが、組織の安定を踏まえて「鎌倉市のために」「長く」働きたい職員を採用したい。

技術職は自治体間で取り合いになっており、募集のチャネルを広げたい。

鎌倉市役所で活躍できる人財とは？

鎌倉市役所で活躍できる人

目標に向かって自ら歩むことができる人

常に高い志を持ち自主的に考え行動する

現状に安住しない開拓心のある人

日々のチャレンジで自ら成長し変革していく

労を惜しまず、常に謙虚で誠実な人

責任感を持ち真剣に仕事に取り組む

他人事ではなく、すべてを自分事として捉えることができる人

「誰かのために市民のために」相手の目線で物事を考える



【デザイン思考の方法】

- 🏠 ペルソナ
- 🏠 カスタマージャーニーマップ
- 🏠 ブレインストーミング

これらのマインドを持った受験生に興味を持っていただき、「公務員として、ぜひ鎌倉市役所で働きたい」と思ってもらうためには、どのような採用アプローチが必要なのか？

一緒に考えてみませんか？